

第 11 回「市民と市長のふれあいトーク」の内容（要旨）

と き 5月30日（金）
テーマ 津山の活性化に向けて
参加者 日笠 佳絵さん（上田邑）
和田 優輝さん（下高倉西）
丸尾 宜史さん（一方）

市内でワーク・ライフ・バランスやまちづくり、情報技術の分野で活躍する皆さんから津山を活性化するための提案を受け、市長と意見交換を行いました



働きやすい津山に

参加者 生活を充実させて、それを仕事に生かす「ワーク・ライフ・バランス」を、市や企業で進めることが大切だと思います。仕事の能率を上げて残業時間をゼロにするなど、まず、市が行い、そのノウハウを企業に発信してほしいです。

また、男性の長時間労働が女性の育児や家事の負担を増やし、出生率低下の原因の一つになっているといわれます。さらに、今後は家族の介護のために仕事を辞めなければならない男性も増えるといわれています。どのような状況でも働ける環境の整備が望まれています。

市民が参画できる計画を

参加者 結婚を機に津山に来て、津山の自然や文化に魅力を感じています。建築家としての発想を生かし、県内外のまちづくりに参加していますが、まちづくりには、そこに住む人の参画が必要だと思っています。

市がこれから策定する津山市第5次総合計画は、市民が参画して策定し、市民が行動するものであってほしいです。最近、自分が住む地域に関心を持つ人も増えているので、その思いと、市の施策が一致する計画になることを望んでいます。

津山に雇用の場を

参加者 人口減少が叫ばれる中、津山で働く人、若い世代を呼び戻すことが必要です。高校卒業後、津山を離れた人から「津山には仕事がない」という声を聞きます。それに反して、津山の経営者からは「人材が足りない」という声を耳にします。この雇用のギャップを埋めようと、津山で働きたい人に、市内の会社の事業内容や経営者の理念などを伝える求人情報を掲載したホームページを立ち上げました。

今後、行政と企業が一体となり、企業支援による雇用創出や、市内に人材を呼び戻すことのできる仕組みづくりが必要だと思っています。

市長 津山市第5次総合計画では、今後の人口減少や少子高齢化などの課題に向けて、定住促進や子育て支援の充実などの対策を盛り込み、津山の活性化を目指したいと思っています。

そのために、ワーク・ライフ・バランスや雇用対策など、今回の提案を参考に進めていきたいと思えます。地域の資源を生かし、地域を盛り上げていくため、各分野の皆さんと連携を深めていきたいですね。